

令和4年度 大阪府立豊中支援学校 第3回 学校運営協議会記録

1、日時：令和5年2月10日（金）10：30－11：40

2、場所：本校調理室

3、構成：＜ 委員 ＞ 意見聴取を含め5名

＜事務局＞ 校長、教頭2名、首席2名、指導教諭1名、教諭1名

＜ 傍聴 ＞ 1名

4、内容

10:30	第3回協議会次第説明 校長挨拶	(事務局) (校長)
10:35	報告及び協議、質疑応答 ・豊中フェスティバル実施報告 ・学校教育自己診断、学校生活アンケートについて ・実践交流会実施報告 ・令和4年度 学校経営計画及び学校評価 ・令和5年度 学校経営計画及び学校評価	(委員長) (首席) (首席) (指導教諭) (校長)
11:40	事務連絡	(事務局)

●上記のとおり、報告等を行い、各委員より次のような意見をいただいた。

豊中フェスティバル実施報告

- ・作品の完成度から児童生徒の成長を感じることができた。
- ・作品や映像発表など、地域のイベント等に出展できる機会があれば検討してほしい。
- ・映像発表は年々完成度が高くなっており、PTAとしても動画研修会を開催してよかった。
- ・念願だった模擬店や成果物販売が実施でき、児童生徒たちの縦割り交流が実現されてよかった。

学校教育自己診断、学校生活アンケートについて

- ・保護者代表として「連絡帳での家庭連絡」「保護者の行事参加」「楽しく学校に通えている」という設問が高く評価されていることが嬉しい。先生方の励みに繋げていただきたい。
- ・教職員の「人事」に関する設問について、教員間の連携、同僚性の高め方は地域の学校においても課題に挙がる。管理職や中軸を担う教員を中心に、組織としての対応を大切にしてほしい。
- ・「交流及び共同学習」については、地域と支援学校の双方が働きかけていけることが理想である。
- ・「ICT（情報通信技術）」の設問については、地域の学校においても保護者が回答に悩まれる設問である。学校が実践している新しい教育活動については特に、広報活動をすすめる必要性を感じている。
- ・「地震や災害」に関する項目について、取組みの成果が生徒たちの回答に反映されていて嬉しい。
- ・集計結果から、学校行事やPTA活動等の再開が汲み取れて嬉しく思う。繰り返し達成感を味わうことで、仲間と協働する力が高まると考えられるため、活動が継続されることを願う。
- ・「学校施設」について、特別教室が今以上に減少し、児童生徒の居場所が限られることが残念である。空間のゆとりは心のゆとりにも繋がるように感じるので、引き続き府への要望をお願いしたい。

実践交流会実施報告

- ・ICT 実践については得意な人に頼る場面が多くなりがちである。「みんなで (ICT を) やってみよう」という視点で研修が企画されていることがすばらしい。
- ・多くの授業でタブレット端末が活用されている。児童生徒のモチベーションが高まるツールである。双方向のコミュニケーションの成功体験になるよう、使用機会を逃さず実践してほしい。
- ・支援学校において、整備・活用がすすんでいると感じた。

令和5年度 学校経営計画及び学校評価について

- ・アフターコロナにおけるより良い学び、コロナ禍で工夫された取組みとの融合を大切にしてほしい。
- ・教員の専門性及び授業力の向上への保護者の期待は、本校の小学部の児童数の増加にも表れていると思う。令和4年度の自己評価において、出前授業の実施回数や国際交流、ICT モデル授業の回数が目標値を大きく上回っていることも嬉しい。各分野の得意な先生方の情報や知識を有効に活用され、校内における研究授業、協議等を通してどの先生方にもより良い授業を実践していただきたい。
- ・令和5年度のめざす学校像、中期的目標について承認をいただいた。